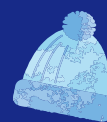


# しえるメール



vol.7 (2024年2月)



近づく  
別れの季節...

2024年2月10日 畑マタギ企画展

シェルフォレスト川内より

## 【特集】山田 協力隊員 2年間の軌跡

スノー × ライトフェス 2024 レポート  
畑マタギ企画展 開催中!

この情報誌は地域の皆さまに  
自然や人について発信し、そ  
の魅力を再発見してもらうこ  
とを目的に、むつ市地域おこ  
し協力隊が発行しています



# 山田 菜生子 隊員 2年間の軌跡

2024年3月、むつ市地域おこし協力隊として2022年から2年間活動してきた山田隊員が、大学への復学のため活動を終了します。今回は、これまでの山田隊員の活動を振り返ります。

n.yamada



2022年5月  
協力隊委嘱式

愛知県の大学を休学して協力隊に。400以上の募集を見比べて、むつ市を選びました。



スノーシュー



カヤック

山田隊員作成  
のカヤックの  
PVはこちら！



n.yamada



2023年11月  
KAWAUCHI 星空教室

2回の延期を経て、何とか開催。肌寒い中、たくさんの星を見ることができました。



4月からは地元の愛知県に帰り、3年生として大学に復帰する予定です。2年間の経験を生かして、活躍されることを祈っています！（小池）



n.yamada



2022年6月～  
カマイルカ骨格標本作り

初めての大事な仕事。試行錯誤しながら完成させた標本は、現在も体験館で展示しています。



2022年4月  
→ 2024年3月

n.yamada



2022年8月～  
若者育成事業

高校生とともに川内の産業・文化を後世に伝えるための冊子を作成しました。

n.yamada



2023年3月  
ムチュベこCF

会津の赤べことコラボしたクラウドファンディングは、無事目標金額に到達しました。



むつ市民大学  
公開講座



長野県泰阜村の  
NPOの活動の視察

ジオパーク秩父での  
全国大会に参加



n.yamada



2023年11月  
防災ぷろじえくと

防災士として、もし津波に襲われた場合どうするのか、地域の方たちと話し合いました。

n.yamada



2024年2月～  
畑マタギ企画展

活動の集大成となる企画展。初日から多くの方に展示を見に訪れていただきました。



# あなたともっと話してみ隊

## #last 第二の故郷、しばしのお別れ。

皆さんこんにちは。むつ市地域おこし協力隊の山田です。私事ではございますが、この度3月末をもって協力隊を退任し、地元愛知県の大学へ復学することになりました。この場をお借りして、お世話になった皆さまへ思いの丈をお伝えできたらと思います。



## 【わたしと下北半島】

2年前の4月、胸いっぱい不安と相棒のアコースティックギターを抱えて、私は大湊線に揺られていました。職場のシェルホールはどんな場所なんだろう？ 地域の方には受け入れてもらえるだろうか？ 何かの本で読んだ「1年のうち半分は雪が降る」というのは本当なのか？ あまりに長い移動時間（飛行機を使って約5時間）で考える限りの不安が頭をよぎりました。

しかし、そんな不安も忘れてしまうほど、下北に来てたくさんの「はじめて」に出逢いました。はじめて地域のお祭りに参加させていただき、その煌びやかな装飾や人々の熱気に圧倒されたり。はじめて生きたホタテを自分でほやいて、その甘さに頬が落ちそうになったり。はじめて体験したマリナクティビティは、協力隊みんなで出勤前や出勤後にまりん・ビーチで何度も練習してインストラクターの資格をとったり。はじめて山菜やなめこを探りに山に入っ、斜面数メートルを滑落したり（笑）。

たくさんの出逢いを通して、数えきれない「はじめて」を体験・経験させていただきました。お世話になった方をこの誌面に載せてしまうと全面使っても書ききれないので、省略させていただきますが、「川内町の先輩にインタ

ビュー！」「KAWAUCHI 星空教室」「防災ふるじえくと@上町・谷地町」など、シェルホールのイベントにご参加いただいた皆さんをはじめ、川内・脇野沢を中心に本当にいろんな場所・場面でたくさんの方にお世話になりました。「食べ物に困ったらいつでもおいで」と言っていたこともありました。惜しみない温かさをありがとうございました。

2年間下北で過ごし、「はじめて」はいつしか「なつかしさ」や「愛おしさ」になってゆきました。今では私の中で欠かせない要素になっています。もうこれまでのように下北を味わえない、そして皆さんにお会いできないと思うと寂しい限りです。が、夏休みなど時間ができたら戻ってこようと思いますので、今後ともよろしく願います！ 会えない間、下北の皆さんが健やかでおられることを心から祈っています。では、また会う日まで！



Writer

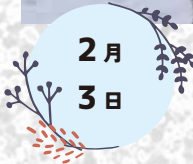
山田 菜生子

・愛知県長久手市 出身  
・舌が肥えてしまったので、陸奥湾ホタテ以外はもう食べられません！



# イベントレポート

シェルフォレスト川内や地域おこし協力隊の季節ごとの活動をご紹介します！



2月  
3日

## スノー×ライトフェス 2024 in 川内

昨年度に引き続き2回目となるスノー×ライトフェスを開催。今年は暖冬により青森県内でも中止を余儀なくされるイベントが多い中、すべり台や雪灯籠などのプログラムをオニ退治ゲームやキャンドルライトなどに変更して実施しました。約800名の方にご来場いただき、冬の地域交流の場にすることができました。



1月  
13,14日

## 移住・交流&地域おこしフェア 2024

東京ビッグサイトで行われたイベントに参加し、新たな地域おこし協力隊の募集を呼びかけました。イベントには全国の自治体に参加しており、それぞれのブースで地域の魅力を発信していました。私たちがカヤックのスロモーションビデオを流すなどして、むつ市の協力隊に興味がある方に活動を紹介しました。下記の通り、現在も地域おこし協力隊を募集しており、Uターンも大歓迎ですので、お問い合わせにぜひご紹介ください！



2月  
10日～

## むつ市海と森ふれあい体験館 冬の企画展 『熊マタギ～熊を撃ち、山をつなぐ～』

2月10日(土)から3月16日(土)まで、むつ市海と森ふれあい体験館で、川内地域畑集落にて代々受け継がれてきた熊撃ち文化、マタギ文化に迫る企画展を開催中です。むつ市文化財収蔵庫の当時の民具のほか、個人所有の狩猟道具など約60点の資料を展示し、命と向き合うマタギの精神に少しでも触れてもらえるような企画展となっております。3月16日(土)には、「最後の熊マタギ」大澤専悦氏をはじめとしたゲストにお越しいただき、特別座談会も実施します。

### むつ市地域おこし協力隊募集中！

NPO法人シェルフォレスト川内では、川内・脇野沢地域の地域振興を推進してくれる地域おこし協力隊を引き続き募集しています。地域おこし協力隊は、都市部から地方部に移住して、地域を盛り上げるために活動します。むつ市外の都市部で暮らしているお知り合いやご家族など、興味のある方がいましたら、ぜひお声がけください。雇用条件などの詳しい情報は、下記のむつ市海と森ふれあい体験館ホームページをご覧ください。

### むつ市海と森ふれあい体験館

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日・年末年始

入館料 無料

〒039-5201  
青森県むつ市川内町川内 477  
TEL 0175-42-2411



#### 活動やイベントの情報はこちらでチェック！

ホームページ



LINE



Facebook



Instagram



編集：小池拓矢 発行：NPO法人シェルフォレスト川内